

## 事業説明会第2セッション

「日本事業の強靱化戦略」「戦略を支える機能強化」における主な質疑応答(要旨)

2020年8月26日

日本通運株式会社

### (コスト削減)

Q1. コスト削減について、下期にかけて業務計画の見直しするという話であったが、事業説明会資料P7「間接部門のローコスト化」の話とリンクするのか。それとも、更にコスト削減を進めるということか。

A1. P7は間接部門のコスト削減についてであり、業務計画とはリンクしていない。業務計画は、間接部門のコスト削減に限らない。新規セールス、コスト削減など全ての方法を含み、全課所で見直し、リニューアルを行っている。

Q2. 更なる深堀が行われるという理解で良いか。第2四半期の決算説明会で、深堀の進捗について公表できるのか。

A2. 更なる深堀をしていく。数字で示せるかは分からないが、社内的には個別に把握している。第2四半期決算時には、公表するかどうかは未定であるが、我々としては把握している状況になる。

### (子会社の営業利益率)

Q3. 第1四半期では、国内子会社の営業利益率が良くなかったが、その対策とグループとしての効率化にどのようにアプローチするのか教えて欲しい。

A3. 第1四半期で子会社の営業利益率が低かったのは、取扱い数量の減少が主因である。新たな仕事を子会社にまわすことで効率化していく。つまり、純然たる外注を減らし、これらの仕事を子会社に任せることで営業利益率を上げていきたい。

Q4. 第2四半期以降、物量が増えることによって、子会社営業利益率が改善するのか。

A4. 全体として当社の物量が増えるかどうかは見通せないが、純然たる外注ではなく、子会社としての利用を増やし、活用していくことで営業利益率を改善していく。

以 上